

2025年度 授業コード: 22108000

授業科目	公衆衛生学				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	藤和 太										
授業概要	公衆衛生学とは組織された地域社会の努力を通して、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的機能の増進を図る科学であり、技術である。社会福祉士、養護教諭、看護師、栄養士、保健師および医師はその組織された地域社会の一員であり、当事者でもある。本科目では、公衆衛生学の歴史、健康の概念と健康管理、疫学方法論、疾病予防、環境と健康、母子保健及び学校保健など各種保健、医療制度、衛生行政および社会保障の知識について解説する。また、基本的な保健統計及び疫学手法を解説し、医療健康情報の分析と判断ができるよう実践演習を行う。										
授業形態	対面授業			授業方法	スライドによる説明とプリント配布。毎回授業後小テストを行い、ディスカッションによって理解度を測る。						
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公衆衛生学の概念、公衆衛生の歴史を理解し、自分の言葉で説明できる。(DP1-2)</li> <li>2. 健康の概念、生活習慣病予防、環境と人間社会の関係を理解し、他人に説明できる。(DP1-2)</li> <li>3. 日本における医療行政、社会保障制度について理解し、他国の公衆衛生システムと比較できる。(DP3-1)</li> <li>4. 看護師、養護教諭および管理栄養士に求められている立場を理解し、疾病予防および健康増進に対する役割を説明できる。(DP3-1)</li> </ol>										
理想的レベル	標準レベルに加え、最新の公衆衛生問題に関心を抱き、各々の問題について、疫学統計の視点から説明できる。										
<b>評価方法・評価割合</b>											
評価方法		評価割合 (数値)			備考						
試験		85									
小テスト		15									
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
<b>カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング</b>											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21517J
<b>学習課題 (予習・復習)</b>										1回の目安時間 (時間)	
次の授業内容について教科書を読む。授業で示された図書や文献などを調べ、疑問点などをまとめる。										4	
<b>授業計画</b>											
第1回	テーマ：公衆衛生学序論 (藤和) 公衆衛生学概念・歴史、健康の概念										

第2回	テーマ：保健統計（1）（藤和） 健康水準・健康指標
第3回	テーマ：保健統計（2）（藤和） 人口統計、国際比較
第4回	疫学1（藤和） 疾病の分類、疾病量の把握、疫学の分類
第5回	テーマ：疫学2（藤和） 相対危険、オッズ比など疫学統計計算
第6回	テーマ：疾病予防と健康管理（藤和） スクリーニング、健康日本21（第2次）
第7回	テーマ：主な疾患の予防（1）（藤和） 感染症予防
第8回	テーマ：主な疾患の予防（2）（藤和） 生活習慣病及びその他の疾病
第9回	テーマ：環境と健康（藤和） 上水道、下水道、廃棄物処理、公害
第10回	テーマ：環境と食品衛生（藤和） 食品の安全性、食中毒
第11回	テーマ：保健医療福祉制度と地域保健（藤和） 衛生行政、福祉制度、医療費、地域保健
第12回	テーマ：母子保健・学校保健（藤和） 母子手帳、新生児死亡率、学校伝染病予防
第13回	テーマ：精神保健・産業保健（藤和） 精神障害の現状と動向、労働衛生管理、自殺予防
第14回	テーマ：高齢者保健と国際保健（藤和） 介護制度、人種と保健、国際保健機関
第15回	総合演習（藤和）講義の内容をカバーした演習問題を解き、説明する。
テキスト	「公衆衛生学」の成書： 「シンプル衛生公衆衛生学 2025」南江堂
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	国民衛生の動向、図説「国民衛生の動向」 厚生労働省ホームページ情報 公衆衛生ねっと 公衆衛生がみえる
課題に対するフィ	小テストの内容については、授業中で指示する 小テストは次の授業で質疑応答してから解説する。

ードバツ クの方法	
学生への メッセー ジ・コメ ント	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 公衆衛生学は国家試験問題の出題比率が非常に高く、重要な科目である。</li><li>2. 教科書を事前に予習し、授業後は小テストや関連国家試験問題を試して、授業内容を復習する。</li><li>3. 公衆衛生学では、教科書をよく読むことは将来の国家試験対策に非常に役に立つ。</li><li>4. 医療制度改革の動向など最新の公衆衛生問題に注視し、インターネットや雑誌などで検索して確認することは大切なことである。</li></ol>